

Contents

- ・【報告】特別展『縄文 小川忠博写真展』、特別展『皇室の名宝と秋田～三の丸尚蔵館展収藏品展』
- ・【開催中】特別展『歌川国芳展』
- ・【報告】コレクション展第Ⅰ期
- ・【開催中】コレクション展第Ⅱ期
- ・【報告】ふれんどりーギャラリー
- ・【報告】出前美術展 in 能代エナジウムパーク

秋田県立近代美術館ニュース [アーク]

ARK No.86

2023.4-9



▲縄文の生活と美が詰まった展示室。埋蔵文化財センター・新海氏とのギャラリーツアー。
▼漆で縄文時代の形を追いかける「ワークショップ「漆でJOMON」」 ▼開会式にて小川忠博さん



特別展 報告

縄文 小川忠博写真展



《土偶 秋田県塚ノ下遺跡出土》



【会期】
2023年4月22日(土)～
6月30日(金)

縄文時代の出土品撮影で知られる写真家・小川忠博による写真216点、県内出土の実物資料10点を展示しました。被写体は国宝・重要文化財から各地の名品まで、選りすぐりの全国29都道府県の出土品です。会場では、写真作品を大きなパネルで展示し、さらに小川のライフワークである「展開写真」(土器表側360度の文様を1画面に収めた作品)も高さ3m・幅5～9mのサイズで公開しました。

写真家の目と技で表現された写真は、出土品それぞれの特徴を際立たせた、力に満ちたものばかり。地域や時代で異なる多彩な造形世界を一度に楽しむことができ、その形を作った縄文時代の人々の精神性や美意識も感じ取れる展覧会となりました。
(担当：鈴木京)

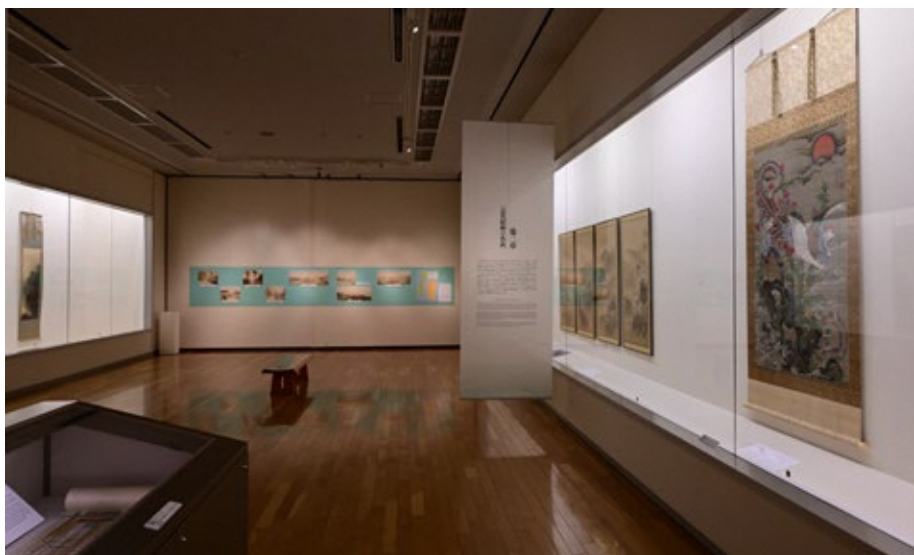
特別展
報告

皇室の名宝と秋田

～三の丸尚蔵館収蔵品展～

三の丸尚蔵館は、平成5(1993)年、皇室に代々受け継がれてきた美術工芸品などを保存、調査研究、展示する施設として開館しました。本展では、約9千点余に上る収蔵品から、秋田ゆ

かりの作品と皇室の名宝を5つの章でご紹介し、加えて、明治天皇が東北巡幸で秋田を訪れた際の写真もパネル展示し、皇室と秋田のつながりもご覧いただきました。



記念講演会として、三の丸尚蔵館の清水氏と木谷氏から、三の丸尚蔵館の活動や収蔵品について、また天皇や皇室の方々の巡幸について興味深い内容でお話をいただきました。

来場者からは、皇室に伝わる、江戸時代から近代までの著名な作家による優れた作品や秋田ゆかりの作品に触れることができ、たことへの喜びの声を聞くことができました。

(担当：保泉)



【会期】2023年
7月8日(土)～9月3日(日)
※8月3・4日は展示替えのため休場



《犬張り形ボンボニール》
昭和9年(1934) 三の丸尚蔵館



▲ABSアナウンサーと当館学芸員によるギャラリートークの様子

特別展
開催中

奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展

【会期】2023年9月9日(土)～11月5日(日)

現在開催中の特別展では、江戸時代後期に活躍した歌川国芳の作品をご紹介します。国芳は、近年とくに人気の浮世絵師であり、その人気は同じ浮世絵師の北斎や広重に肩を並べたと言っても過言ではありません。

本展では、国芳が最も得意とした格好いい武者絵と楽しい戯画を中心に展示しています。まさに国芳らしい作品が目白押しです。さらに、西洋画の影響を受けたどこか不思議な雰囲気の風景画や、現代のアニメやゲームにも



《きん魚づくし ほんぼん》(部分) 個人蔵



《宮本武蔵の鯨退治》 個人蔵

通じる動物やモノを擬人化した作品も特集しています。約170点の優品を秋田で見ることができる、またとないチャンスです。ぜひお越しください。

(担当：秋田)

コレクション展

報告

〈第Ⅰ期〉

樹を描く

木で創る



遠い昔から人々は樹木とともに暮らし、様々な恩恵を受けてきました。現代の暮らしでも、建築材料をはじめ、様々な道具や家具などに使われています。

美術品の題材としても樹木の生命力の強さは人間の心をとらえてきました。新緑や紅葉は四季の移ろいを印象づけ、松やまっすぐに伸びる竹は寒い季節にも緑を絶やさぬ縁起の良いものとして表現されました。様々な木の種類にめぐまれた日本では、木の素材そのものの特徴を生かした工芸作品が制作され、また仏像や能

面、木版画や現代美術の材料としても使用されています。

本展では収蔵作品から樹木にまつわる作品をセレクトし、作品に表現された樹木の魅力と多様な表現をお楽しみいただきました。

(担当：鈴木秀)



【会期】2023年4月12日(水)～7月9日(日)

左:佐々木 英《詩絵飾箱「海麗」》1974(昭和49)、右:河津五郎《弥勒菩薩半迦思惟像》



開催中

〈第Ⅱ期〉

キンビ・版画 セレクション

当館が所蔵する約500点の版画作品から、秋田を代表する創作木版画家・勝平得之をはじめ、藤田嗣治、伊藤彌四夫、馬場彬ら12名の作家による80点をご紹介します。また今回は、エッチング、リトグラフ、シルクスクリーン、モノタイプ、木版といった版画の制作工程が視覚的にイメージできるように「技法紹介パネル」も掲示しています。7月

15日と9月2日に行ったギャラリートークには合わせて40名を超えるお客様にご参加いただきました。

(担当：藤井)



【会期】2023年7月12日(水)～10月9日(月・祝)

ふれんどリーギャラリーでは、美術館教室と連携した展覧会を行っています。2023年上半年期には、写真教室講師の草薙裕さん(写真家)の展覧会を開催しました。

草薙さんは肉眼で捉えることの出来ない「瞬間と循環」をテーマに、秋田の「雪」や「火」を被写体とした作品を発表してきました。本展では、地球を構成する要素「水」を「無数の一滴」へと分解するようにとらえた作品が出品されました。カメラを通すことで初めて見る事の出来る自然の表情は驚異的なもので、キラキラとした輝きをたたえる表現世界に魅了されるとともに、写真表現の幅の広さをあらためて感じた展覧会でした。

ふれんどリーギャラリー
展示報告



『草薙 裕 写真展 無数の一滴』

【会期】6月20日(火)～7月30日(日)



出前美術展 報告

令和5年度 秋田県立近代美術館 出前美術展 in 能代エナジウムパーク 「アートとあそぼ ～ふれてみる たのしむアート～」



ゆらゆら、ゆらしたり、乗ってみたい♪

能代エナジウムパークを会場に当館の所蔵作品を紹介する「出前美術展」は、今年度が11回目の開催となりました。今回は「アートとあそぼ ～ふれてみる たのしむアート～」と題し、木のおもちゃを中心に、ブロンズの彫刻など、触って楽しむ彫刻を多数展示しました。木とブロンズの素材の違い、見た目では伝わらない微妙な形や質感の違いなど、体全体でアートを楽しむ展示を1,870名のお客様にお楽しみいただきました。(担当:北島 鈴木秀)

【会期】2023年8月26日(土)～9月10日(日)



どんな感触かな？

Report 1

上半期実施教室・講座一覧

- ◆美術館教室
写真教室.....7/1、2
講師:草薨 裕さん(秋田公立美術大学助教)
- ◆みんなの教室
カラーインクで描こう!.....5/14
木の工作教室(木の文房具).....7/30
- ◆きつずあーと
おさかなすいぞくかん.....8/6
スタンプぺったんアート.....9/3

2023年下半年期実施予定事業一覧

- 特別展
「奇想天外×大胆不敵
浮世絵師 歌川国芳展」...9/9～11/5
- 企画展
「からだじゅうであじわう
大根ビネーション展」...11/11～2024/1/28
- コレクション展
第2期「キンビ・版画セレクション」...7/12～10/9
第3期「遊び戯る美」...10/12～2024/1/9
第4期「雪月花のとき」...1/12～4/7
- 館外展示
「ネットワーク事業」...12/14～2024/1/23
- ふれんどりー
ギャラリー展示
「大関智子日本画展」...9/3～10/4
「伊藤由美子版画展」...10/7～11/12
- 美術館教室
(中学生以上一般)
「日本画教室 好きな果物を描こう」...9/30,10/1
講師:大関智子さん(秋田公立美術大学助教)
「版画教室2 エッチングで銅版画に挑戦!!」...10/21,22
講師:伊藤由美子さん(版画家)
- みんなの教室
(小学生以上一般)
「羽子板に描こう!」...12/3
- 特任館長講座
「江戸時代の美術と文化II -多様な個性の開花」
.....10/28,11/25,12/9

Report 2

前田英樹ピアノコンサート.....8/20

今年度はピアニスト・前田英樹さんをお迎えし、ミュージアムコンサートを開催しました。ベートーヴェンソナタ第7番 Op.10-3 第2楽章、ショパン ノクターン第17番 Op.62-1など全7曲を演奏していただきました。今夏の猛暑をひととき忘れてしまうほどの美しい調べに、187人が酔いしれました。



Museum Concert

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 E-mail: akitamma@mac.ne.jp



ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索!
X(旧Twitter)、facebookもご覧ください。

交通案内
お車で | 秋田自動車道・横手インターより3分
バスで | 横手バスターミナル(JR横手駅東口)～ふるさと村15分